

# 平成28年度事業報告書 (第2回)

自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日

## 1. 事業の実施状況

### (1) 基金拠出金の受け入れと東北医科薬科大学への助成金の交付

- ・基金の目的は、機構が、学校法人東北医科薬科大学が創設する「東北地域医療支援修学資金」の原資への助成を行う「東北地域医療支援修学資金原資助成金交付事業」に要する財源を確保することである。
- ・平成28年度は、東北医科薬科大学に対し東北地域医療支援修学資金（資金循環型・宮城県枠）助成金150百万円、東北地域医療支援修学資金（資金循環型・東北5県枠）助成金25百万円の交付を実施した。
- ・機構は、「東北地域医療支援修学資金（資金循環型・宮城県枠）原資助成基金」において平成29年3月14日に、宮城県から15億円の拠出金を受け入れた。
- ・また、機構は「東北地域医療支援修学資金（資金循環型・東北5県枠）原資助成基金」において平成29年3月14日に、学校法人東北医科薬科大学から50百万円の拠出金を受け入れた。

### (2) 特定資産の運用

- ・助成基金は特定資産とし、修学資金制度助成資金積立資産として管理するが、基金受入額が貸与額を上回る期間については差額の運用により運用益の確保が可能である。
- ・運用に際して、元本の安全性を最優先とし、定期預金等での運用を検討した。
- ・その結果、宮城県から受け入れた基金の額15億円から、29年度に学校法人東北医科薬科大学に助成を行う3億円を差し引いた12億円について下記のとおり運用することに決定した。

三井住友銀行 コーラブル定期預金12億円 期間8年 利率0.125%

- ・なお、平成28年度の特定資産の運用利息は2,803,078円であった。

### (3) 賛助会員向け説明会の開催

- ・以下のとおり説明会を開催した。

第1回説明会	平成28年7月25日開催
説明事項	1. 一般社団法人東北地域医療支援機構の概要 2. 平成27年度収支決算及び事業報告 3. 平成28年度収支予算及び事業計画 4. 東北医科薬科大学に対する助成金の交付状況 5. 東北医科薬科大学医学部の入試状況 6. その他

### (4) 医療機関等における必要医師数調査の実施

- ・機構、宮城県及び東北医科薬科大学は、これからの地域医療における医師定着策の検討、特に宮城県枠の卒後医師の配置に係る具体的な仕組みについて現実に即した検討を行うため、県内医療期間等における必要医師数及び総合診療医に対するニーズに関する調査を共同で実施した。

アンケート調査実施日	平成28年8月5日
アンケート結果公表日	平成29年2月24日（機構のホームページに掲載）

### (5) 賛助会員向けセミナーの開催

- ・以下のとおりセミナーを開催した。

第1回セミナー	平成28年11月6日開催
内容	1. 東北医科薬科大学医学部の使命と地域医療教育 2. 地域医療の卒前・卒後教育 3. 東北医科薬科大学と東北地方の医療機関との連携

### (6) 理事会、社員総会の開催

- ・以下のとおり理事会を開催した。

第4回理事会	平成28年5月20日開催
協議事項	1. 平成27年度収支決算及び事業報告の件 2. 平成27年度収支決算等監査報告の件

第1回社員総会	平成28年5月20日開催
協議事項	1. 平成27年度収支決算及び事業報告の件 2. 平成27年度収支決算等監査報告の件 3. 平成28年度収支予算書の件

- |                |  |
|----------------|--|
| 第5回理事会<br>協議事項 | 平成28年12月26日書面決議<br>1. 基金募集要項の制定と基金拠出契約書締結の件  |
| 第6回理事会<br>協議事項 | 平成29年3月22日開催<br>1. 平成29年度の基金運用の件<br>2. 平成29年度事業計画の件<br>3. 平成29年度収支予算書の件<br>4. 会員規程一部改正の件<br>5. 情報公開規程、個人情報保護規程制定の件 |

## 2. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

- ・法令に準拠した定款を策定するとともに、諸規程を整備し、理事会の的確な運営を行うことによりガバナンス体制の整備を行っている。  
また、機構は平成29年1月24日に宮城県から「特定出資団体」及び「特定法人」の指定を受けたため、前記のとおり第6回理事会で承認された「情報公開規程」及び「個人情報保護規程」を制定し、情報公開推進と個人情報保護の体制整備を行った。
- ・法令・定款への適合が判断しにくい場合には、弁護士、税理士等に事前に相談し、適正な判断を行う。  
また、理事の職務にかかわる下記の重要文書を適切に管理し保存するとともに、閲覧可能な状態を維持する。
  - ①社員総会議事録
  - ②理事会議事録
  - ③計算書類
- ・修学資金への助成原資の損失負担については、宮城県、東北医科薬科大学、機構が締結した協定書（資金循環型・宮城県枠、東北5県枠）のなかで明確に定めている。

以上